

(学校番号019)

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【針ヶ谷小学校】

①	今年度の課題と学力向上策		
	学習上・指導上の課題		学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 個人差が大きい。 習得した漢字や語彙を日常的に活用する力。 <指導上の課題> 個別最適な授業の工夫。 効果的な家庭学習の取り組み方の指導。	⇒	今年度の学校課題研修のテーマを「もっと学びたい！針ヶ谷の育成」とし、児童が主体的に学習に取り組める工夫を学校全体で考えていく。その中で自由進度学習やルーブリック評価、メタ認知などを意識していく。【通年】 ワークシートやドリルパーク等を活用し、文章や漢字の成り立ちや語彙力を豊かにする等、基本的な反復・習熟に取り組む。【単元毎に実施】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 登場人物の心情を具体的に想像することや、問題や話し手の意図を捉えて考えることに課題がある。 学力は高いが、問われ方が変わるなど応用問題に対応できていないことが課題である。 <指導上の課題> 授業の中で児童の思考を深める教師の発問の工夫や学習したことを生活場面と関連付けて指導していく必要がある。	⇒	学校図書館の活用や読書活動の充実を図り、学年の実態に応じてビブリオバトル等を行うことで自分の考えを自分の言葉で表現できるようにしていく。また、行動や会話だけでなく状況描写や場面の移り変わりから想像することができるよう指導していく。【週に1度の実施】 学習活動の中で、文章表現だけでなく、図や絵、式にも表現できるようにしていく。【適宜】

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	国語では、漢字など基礎的、基本的な知識・技能は身につけている。引き続き、普段から漢字を使ったり、読書の中でわからない言葉が出てきたときに辞書をひいて意味を確認したりすることを指導していく。 算数では、グラフの読み取りや図形の面積の求め方など基本的な「知識・技能」は身につけている。しかし、無解答も一定数見られているため、得た知識・技能を活用し、粘り強く学習に取り組むことも必要である。 理科では、受粉の仕方や実験の仕方など基礎的な学習内容は身につけている。しかし、学習した内容がその単元にとどまってしまう傾向があるため、他の単元とのつながりを意識して指導していく必要がある。	
思考・判断・表現	国語では、文章全体の構成を捉えて要旨を把握し、目的に応じて文章と図表を結びつけるなどして必要な情報を見付けることに課題が見られた。あらゆる複合問題を目にする機会を増やすとともに、答えが明確ではないものへの解答に自信をもたせるために、文字数の制限を設けるなどの条件をつけて自分の考えを書く練習を繰り返し行うことが大切である。 算数では、作図の問題で課題が見られた。作図をする際の大切なことが図形の性質と関連していることを何度も押さえる必要がある。 理科では、水のあたたまり方や金属の性質に課題が見られた。学習と日常生活が切り離されていることが多いため、より、日常生活に関連付けて指導していくことが大切である。 通記：3教科共通して、知識はあっても、それを活用することや日常生活に置き換えて考えることに難しさを感じているため、活動内容へのより深い理解が必要となる。また、問題を解ききるためのスタミナも大切である。	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	B	学校課題研修を通して教員同士の対話を増やしたことで児童が主体的に学習に向かうための「導入の工夫」、「自由進度学習」、毎回の「振り返り」を大切にする授業を意識できるようになった。積極的に授業を公開するなど切磋琢磨する様子がみられる。 自由進度学習では児童一人ひとりの実態に応じてワークシートやデジタル教材を活用している。その結果少しずつではあるが自分の課題にあった学習方法を選択できるようになってきている。また、高学年では週単位で教科担任から学習内容が提示され、そこから個人が学習計画を立てる練習をしている。	
思考・判断・表現	B	学年ごとにカリマネデザインマップの見直しと前後の学年のつながりを意識したことで、これまで以上に系統立てた指導を行えるようになった。また、見直したカリマネデザインマップを廊下に掲示し、児童がいつでも目にする機会を増やしたことで学習の価値づけをできるようにした。高学年においては、それぞれの教科の中で児童が他教科とのつながりを意識しながら活動する工夫をしている。	

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能		
思考・判断・表現		

⑤	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

⑥	次年度への課題と学力向上策	
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評 価

A 8割以上(達成)

B 6割以上(おおむね達成)

C 6割未満(あと一歩)